

課題解決検討シート

提案：行政窓口で PR

要検討事項：

① どのような情報を、何の目的で PR するか？

案 A 「平常時の啓発」を目的とした PR

発信する情報例：備蓄の呼びかけ・方法など／防災訓練の情報／避難所情報／被害想定情報／その他…

案 B 「弱者支援」を目的とした PR

発信する情報例：防災情報取得方法（メールニュースかわさき登録方法等）／その他…

② どこで、どのような手法で PR するか？

例 1 区民課窓口待合スペースのモニター

※第 5 期の交通安全に関する提案でも活用し、動画を配信

例 2 小杉ビジョン（写真右）

武蔵小杉駅南口「KOSUGI PLAZA」屋外モニター
※市の広報などにも使用実績があるモニター



③ 印象に残る、より伝える工夫？

※動画の場合は、数十秒～最大 1 分程度の中に収める必要がある

参考事例・情報：

■メールニュースかわさき「防災気象情報」に登録しよう！

- ・携帯電話からの登録方法をわかりやすく記載したチラシを作成、配布中
- ・中原区で登録者を増やす方法の検討やキャンペーンなど考えてはどうか？

■区民課窓口での交通安全啓発動画の配信（第 5 期提案を受けた取組）

- ・「スタントマンによる事故再現の動画」や「自転車安全利用五則（文字）」等を題材にした 15 秒の動画を繰り返し流した。

運営部会からの情報・意見：

- ・防災に関する PR、情報発信はぜひ必要
- ・情報弱者は「認知症患者」も想定して、支援したい。

提案：マップづくり

要検討事項：

① どのような情報を整理し、地図化するのか？

- 避難情報…避難場所・避難所・支援拠点・情報拠点・避難ルート・病院等
 - 危険個所・被害想定情報…急傾斜・浸水・液状化・渋滞・落下物…
 - 地域情報…要支援者・人材・帰宅困難者・備蓄…
- ※地域情報は自主防災組織単位でまとめることが望ましいか？

② どのような手法で制作するか？

例 A 既存の情報の再整理・統合

- ・ 様々な防災マップ、防災情報冊子等の統合
- ・ 地域で情報を加筆し、完成するページ等を加える
- ・ 多言語化など

例 B ワークショップ等による地域単位での情報共有・整理

- ・ まちあるきや災害図上訓練（DIG）等の手法の活用
 - ・ モデル地区やモデル事例の設定→先行実施等
- ※参加者のターゲットや広報・募集方法の設定等も必要

参考事例・情報：

■ 中原消防署による災害図上訓練（DIG）の実施

DIG=Disaster Imagination Game 白地図上で災害を想定しながら、防災情報を掘り起し、整理していく手法。中原消防署では中学校等を対象に毎年実施している。

■ 「東京防災」（東京都総務局総合防災部防災管理課）

■ 福岡県こどものための防災マップ

こどもが、災害の事を学びながら、地域の避難所や必要な備えを知るとともに、自宅や学校からの避難ルート MAP を作成できる小冊子。16 ページ。

■ 合志市総合防災マップ（熊本県合志市）

合志市合併 10 周年を記念して、株式会社ゼンリンと市の協働事業により発行。68 ページの冊子に各種被害想定、備えや対策、加筆可能な小地域単位のマップ等を掲載。



CONTENTS	
前プロフィール・防災対策	3
防災情報	4
新設避難所・避難場所の確保とマップ	5
自主防災組織	9
地震	10
火災	11
風水害・台風	12
土砂・浸水	13
伝染病・食中毒	14
防災訓練	15
合志市職工会	16
合併 10 周年 関係者のご挨拶	18
一般社団法人 防災部協議会	22
索引（災害時の連絡先、避難所一覧、市内公民館一覧）	24
MAP	26
防災情報・災害発生時ガイド	56
防災マップの使い方・更新情報など	67
合志市立中央図書館蔵書	68

運営部会からの情報・意見：

- ・ 中原区でも防災情報の総合的な冊子ができると良い。冊子のイメージや編集方法を提案してはどうか。

提案：罹災経験者の話・講演

要検討事項：

① 講演者のリストアップ、依頼方法、話の内容など

委員のつて／講師／

依頼ルート／有償／無償、講話の効果を高めるための資料や演出など…

② 講演・講話の場や広報など

例1 地域の防災訓練や会合の場で

地域の防災訓練／地域団体会合／市民活動団体会合／地域イベントなど…

例2 話の内容を記録→公開

冊子化／ネット上で公開

参考事例・情報：

■山村武彦氏（防災システム研究所）の講演

- ・「避難所は最悪、自宅避難できるのであれば、その方が良い」
- ・「互近助」が重要

■熊本地震 派遣職員体験談

- ・熊本地震の被災地支援として現地へ派遣された川崎市職員の派遣報告

運営部会からの情報・意見：

- ・「互近助」という言葉は良い。
- ・防災訓練等を通じて感じた「危機感」を如何に継続させるかが重要だ。

提案：避難所生活体験・合同避難所運営訓練・イベント+防災訓練の推進

要検討事項：

① 運営主体（担い手）と参加者は誰か？

- 運営主体…自主防災組織／新たに運営団体を設立／
- 合同・連携相手…学校／子ども会／青少年団体／企業…
- 広報・募集方法…

※避難所は「住民による自主運営」が基本であることの認識が重要

② プログラム内容

■ 体験型プログラム（「見る」よりも「やってみる」）

- ・炊き出し、仮設トイレ組立、避難所宿泊、
要援護者支援・救出、情報弱者支援…
- ・多言語対応…

③ イベントとの共催について

■ 共催するイベントや相手

- サッカー教室、自然観察、野外活動…
- 既存の地域イベント、お祭り…



参考事例・情報

■ 渡田まちづくり防災フェス（平成 28 年 10 月 30 日開催・渡田まちづくりクラブ主催）

地域の 7 町会が共催、200 名参加。消防署等の協力も得て、町会単位ではなかなかできない、救急法、搬送法、AED、仮設トイレ組立などの体験型プログラムを実施。

■ 子ども安全安心・防災フェア（幸区）

8 月開催。起震車、応急給水、防火衣試着など体験の他、子どもを対象にパトカー、消防車等の車両展示や体験乗車、各種安全教室など開催

■ 避難所運営ゲーム（HUG）（静岡県が開発）

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを基に、避難所の避難所施設の使い方や部屋割り、入居時の課題対応、運営委員会等を模擬体験するゲーム

運営部会からの情報・意見：

- ・ 「きっかけづくり」と「担い手・体制づくり」、それぞれ考える必要がある。
- ・ 共催イベントの具体候補

① 川崎フロンターレ親子サッカードリーム教室（写真上）

等々力陸上競技場 区内親子 500 組が参加 待機時間等を活用して実施

② 中原区 警察・消防・区役所ぐるぐるツアー

平成 28 年 8 月に初めて開催。3 施設を周りながらまちの安全について学ぶ

提案：リーダー人材の育成

要検討事項：

① どのような制度・しくみとするか？

■ 既存の制度の活用

危機管理士…特定非営利活動法人 日本危機管理士機構が認定。2級、1級がある。
年1万円以上の会費・定期的な受講が必要。

※内容も高度で入口としては高難度ではないか？

市民救命士、応急手当普及員…下記参照

② 研修プログラム内容

■ 開催方法

■ 認定方法

※単なる認定書のようなものではなく、リストバンドのようなわかりやすい形が良いのではないか。例：認知症サポーターのオレンジリングなど

参考事例・情報

■ 市民救命士の養成（川崎市消防局）

心配蘇生法や止血法などの応急手当の実技を身に付けた市民の養成を推進。

様々な救命講習の受講者に市民救命士の修了書を授与。概ね3年ごとの更新が目安。

更に上級認定として、指導に従事し、普及する資格として「応急手当普及員」もある。
14,290人以上/年の養成を目標としている。



■ 東京都北区の避難所運営訓練

3日間・3段階で実施。初日は避難所の実状の講義、避難所運営ゲーム。2日目は運営委員会や役割班単位の打合せ、3日目に住民が避難者として参加し開設・対応体験訓練。

運営部会からの情報・意見：

- ・ 中高生世代をターゲットに認定するしくみを検討してはどうか？

→「市民救命士」は年齢設定特に無し。講習などの内容から、中学生以上を想定。

提案：安否確認・管理体制の強化

要検討事項：

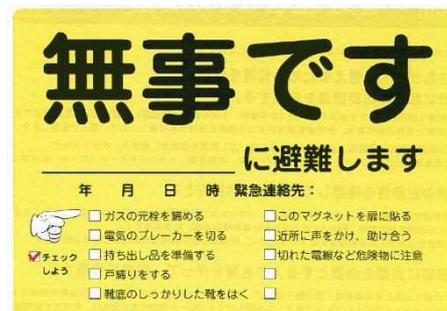
① できるだけ簡易に、わかりやすい形で安否確認する方法とは？

※実際の災害時の混乱や困難性。個人情報への壁 など

参考事例・情報

■無事ですカード（川崎市高津区ほか）

災害発生後に救助・救援を特に必要としない家庭がドアノブや玄関前等に「無事です」「〇〇に避難中」などの情報が書かれたカードを掲示する方式。（高津区等でも事例あり）※実際の発生時は要救援者が自ら発信することは困難な場合がある為、逆転の発想。



■避難所の円滑な運営に資する資料の作成・準備等（横浜市他）

避難所単位で予め用意…避難所運営に資する掲示の多国語版、避難者登録カードなど安否確認等も含めた情報掲示板の設置訓練を避難所開設訓練や避難所運営マニュアルに取り入れる事例など

提案：街中案内サインの充実

要検討事項：

① どのようなサインが必要か？

掲載内容や、素材、情報量

避難所／給水所／避難ルート／…

※目につきやすさ、わかりやすさ等への考慮が必要

② どのような場所にどのような形式で設置するか？

費用や設置許可の取得等について

参考事例・情報

■川崎区 海拔表示板（川崎市川崎区 区民会議の提案を受けて実施）

町内会掲示板を中心に設置地点の「海拔」と最新の津波被害想定による「浸水深」を3か国語で表示したアクリルプレートを設置。

運営部会からの情報・意見：

- ・ コンビニ店舗で情報発信や案内掲示できないか？（市とセブンイレブンの協定※）
→冊子等資料の配布・配架は難しい。掲示等なら可能性あり？

※地域活性化に向けた相互連携による市民サービスの向上と、地域の活性化に向けた取組